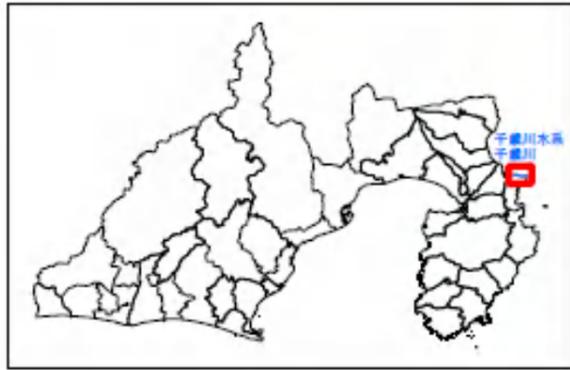
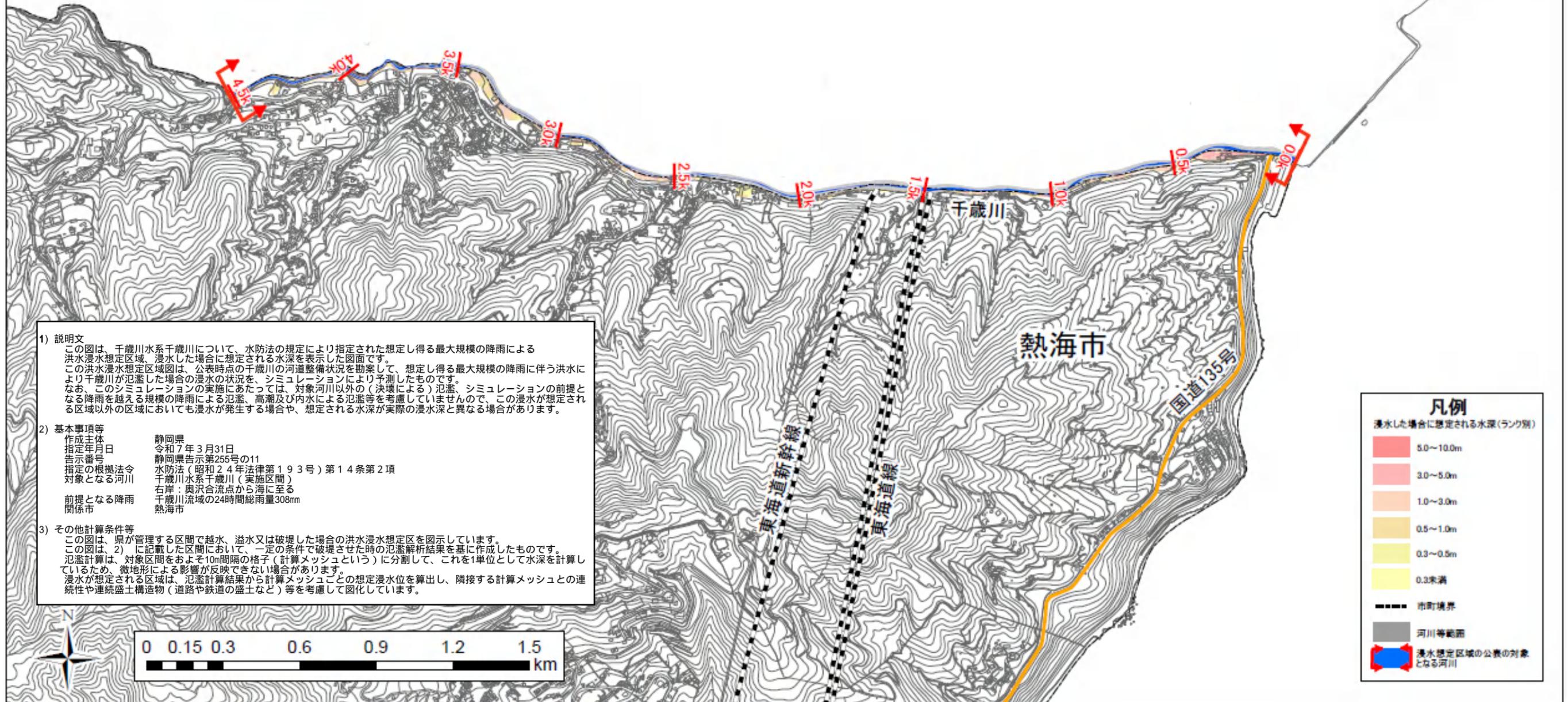


千歳川水系千歳川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



神奈川県



1) 説明文
 この図は、千歳川水系千歳川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 この洪水浸水想定区域図は、公表時点の千歳川の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により千歳川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
 なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等
 作成主体 静岡県
 指定年月日 令和7年3月31日
 告示番号 静岡県告示第255号の11
 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 対象となる河川 千歳川水系千歳川(実施区間)
 右岸: 奥沢合流点から海に至る
 千歳川流域の24時間総雨量308mm
 前提となる降雨
 関係市 熱海市

3) その他計算条件等
 この図は、県が管理する区間で越水、溢水又は破堤した場合の洪水浸水想定区を明示しています。
 この図は、2)に記載した区間において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析結果を基に作成したものです。
 氾濫計算は、対象区間をおよそ10m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

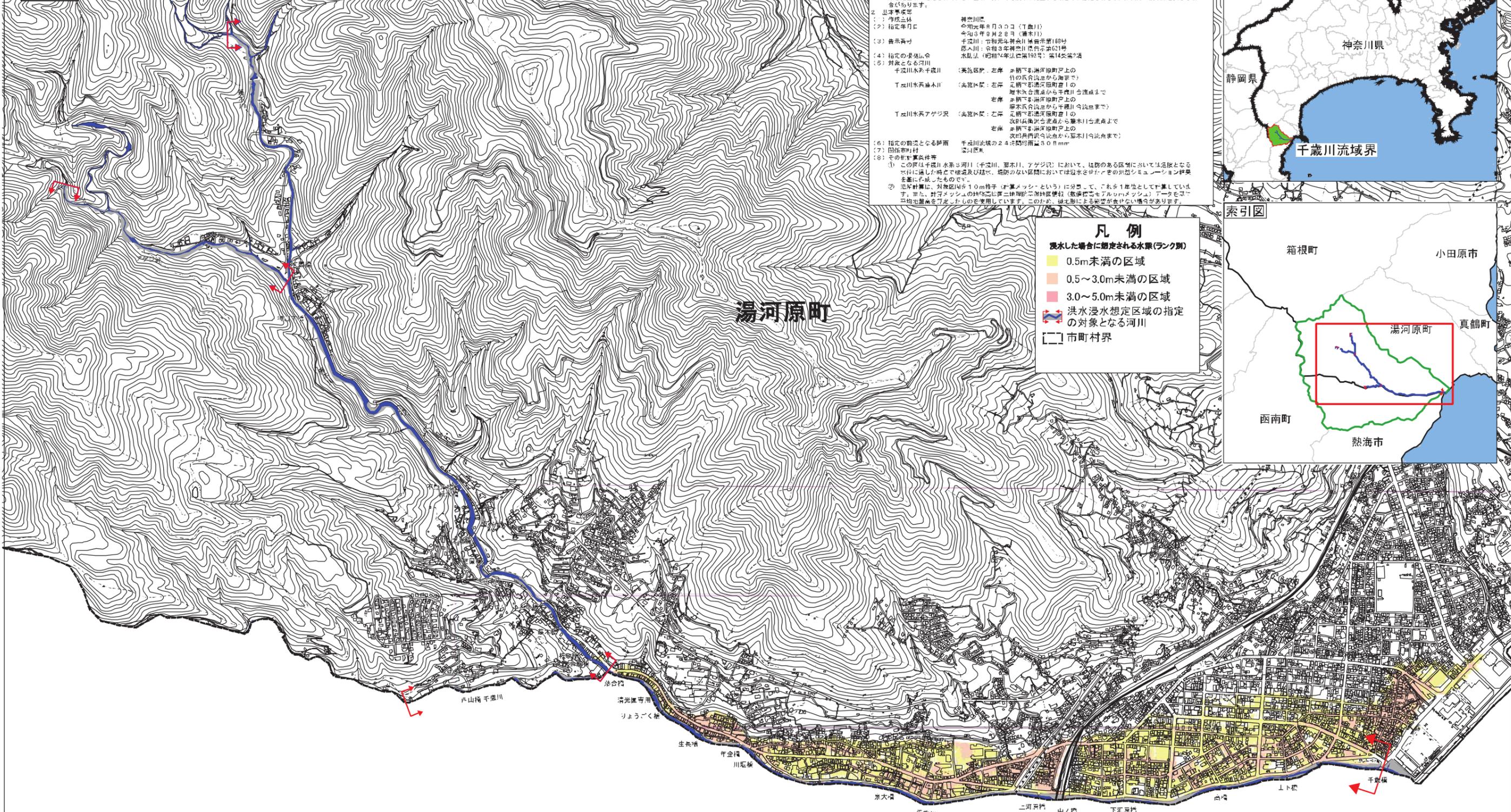
5.0~10.0m
3.0~5.0m
1.0~3.0m
0.5~1.0m
0.3~0.5m
0.3未満

--- 市町境界
 河川等範囲
 浸水想定区域の公表の対象となる河川

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs 1005」
 ※A1版出力時は1:7500、A3版出力時は1:15000

次のページに、神奈川県が作成した千歳川左岸側（神奈川県側）の浸水が想定される範囲及び水深を示した洪水浸水想定区域図を参考に添付します。

千歳川水系千歳川・藤木川・アゲジ沢洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



千歳川水系千歳川・藤木川・アゲジ沢洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1. 説明文
 (1) この図は、千歳川水系千歳川、藤木川、アゲジ沢の対岸区域について、水防法の規定により定められた洪水最大規模等による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、洪水時の千歳川、藤木川、アゲジ沢の河道の箇所状況を勘案して、想定最大規模等による洪水による浸水(千歳川、藤木川、アゲジ沢)が想定された場合の浸水の状況がシミュレーションにより算出されたものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実態にあたっては、千歳川水系千歳川以外の河川等の河道、シミュレーションの前提となる降雨を定める降雨の箇所による浸水、および内水による浸水を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域にも含まれていない区域においても浸水が発生する場合があります。また、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 沿革等
 (1) 作成主体
 (2) 指定年月日
 (3) 告示番号
 (4) 指定の基礎法令
 (5) 対象となる河川

千歳川水系千歳川
 千歳川水系藤木川
 千歳川水系アゲジ沢

(実施区域) 左岸 千歳川下流河原町上流の
 竹の沢合流点から海まで
 (実施区域) 左岸 足柄下郡湯河原町上流の
 坂本合流点から千歳川合流点まで
 (実施区域) 右岸 千歳川下流河原町上流の
 坂本合流点から千歳川合流点まで
 (実施区域) 左岸 足柄下郡湯河原町上流の
 坂本合流点から藤木川合流点まで
 (実施区域) 右岸 千歳川下流河原町上流の
 坂本合流点から藤木川合流点まで

(6) 指定の前提となる降雨 千歳川流域の2.4時間降雨量30.0mm
 (7) 関係市町村 湯河原町

3. その他重要事項
 (1) この図は千歳川水系千歳川(千歳川、藤木川、アゲジ沢)において、堤防のある区域において想定される水深に過した時点で堤防及び越水、堤防のない区域においては浸水を示すためのシミュレーション結果を基に作成されたものです。
 (2) 計算計算は、対象区域を10m格子(メッシュ)とし、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地形高は第二地理院の地形図情報(数値地形モデルメッシュ)データを用いた地形高を7.5mの精度で使用しています。このため、地形による浸水が食い違いが生じる場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川
- 市町村界



静岡県



A1出力時は1:8,000、A3出力時は1:16,000

この地図の作成に当たっては、国土情報院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 令元情使、第458号)